

(10) 宇和島ブロック (宇和島市)

～産地づくり～

西日本豪雨災害からの復興と被災前よりパワーアップしたかんきつ産地を目指し、基幹品種（南柑20号等）と多彩な品種の組み合わせによる周年供給体制に加え、農地の集積や高品質生産技術の実証・普及、新品種の導入等を進めるとともに、農家の所得向上を目的に、水田を有効利用した「さといも（伊予美人）」の産地化や「ブラッドオレンジ」の国内No.1産地の維持・拡大など、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○魅力あふれるかんきつ産地づくり

1 うんしゅう「南柑20号」を中心に多彩な品種の組合せによる周年供給体制の維持

【取組】

- ① 南予地域果樹産地協議会が、果樹経営支援等対策事業を活用し、周年供給を目指す地域にあった品種の導入を推進
- ② 温州みかんの隔年結果の是正や摘果労力の軽減を目的に摘果剤の利用を推進
- ③ 土壌環境の改善、カルシウムの補給、品質向上のため7月～8月上旬の石灰施用を推進。

【成果】

- ① 「ほんかん」14,532本、「河内晩柑」3,267本、「甘平」6,091本の苗木を植栽
- ② 摘果剤として、1-ナフタレン酢酸ナトリウム剤（規格：100g）690袋及びエチクロゼート剤（規格：100cc）260本を利用し、摘果労力の省力化を達成（45ha（推定）で使用）
- ③ 夏施用として、石灰資材（粒状サンライム）7,000袋を140ha（推定）に施用

2 紅プリンセス等高収益性品種の導入促進

【取組】

- ① R2年度の局予算事業「紅プリンセス産地化促進事業」の実績等を生産者へ情報提供し、導入を推進
- ② 「甘平」の裂果対策として、少量多頻度灌水を、果頂部硬化症への対策としてほう素質肥料の散布を推進

【成果】

- ① 「紅プリンセス」苗木の注文実績：10,400本（令和4年3月定植分）
- ② 「甘平」で、ほう素質肥料（規格：1kg）を2回、312袋を散布することにより、ほぼ全園地33haで果頂部硬化症対策を実施

3 優良園地の担い手への集積

【取組】

- ・平成30年豪雨被災園地の再編復旧2地区について担い手への集積を推進

【成果】

- ・「立間地区」：受益面積7.4haの集積についての地区打合せ13回
- ・「玉津地区」：受益面積6.8haの // 2回

4 マルドリ・根域制限栽培等、高品質・省力栽培施設の整備と技術確立

【取組】

- ① 再編復旧「立間工区」のマルドリ導入希望者が八幡浜の先進事例を調査
- ② 玉津柑橘倶楽部では、根域制限栽培を試験導入し、みかん研究所の協力により生育状況等を調査

【成果】

- ① 「立間工区」では、10人（計173a）がマルドリ導入を希望
- ② 根域制限栽培導入面積：14.4a



宇和海を望むみかん山



石灰資材



紅プリンセス栽培
実証(R2)



玉津地区（白浦工区）
完成イメージ



八幡浜マルドリ事例調査

○魅力あふれるかんきつ産地づくり

5 園地復旧後に向けた早期成園化技術の導入

【取組】

- ・玉津柑橘倶楽部が、園地復旧後の未収益期間を短縮するために取り組んでいる大苗育苗について、施肥・防除・かん水などを指導

【成果】

- ・南柑20号1,000本、宮川早生300本、田口早生200本を2年生以上の大苗に育成

6 省力化・軽労働化の推進と収穫時の労働力確保など労働力補完体制を整備

【取組】

- ①省力化のため、個人スプリンクラーやモノレールの導入を推進
- ②JAえひめ南が事務局となり「JAえひめ南労働力確保対策プロジェクト」を設置し、JAえひめ南、宇和島市、県が連携した労働力確保対策を実施
- ③女性農業者やアルバイト等が果樹園で働きやすい労働環境を整えるため、簡易トイレを設置

【成果】

- ①個人スプリンクラー8園地・14,491㎡、モノレール17園地・41,821㎡導入
- ②有償ボランティア419人、アルバイト244人（11～12月）
- ③宇和島地区農業改良普及事業推進協議会・労働環境改善プロジェクトによる簡易水洗トイレ運用実証：4か所
- ③JAえひめ南・未来型果樹産地強化支援事業による仮設トイレ設置（新設）5か所



大苗育苗栽培指導



簡易トイレ運用実証

○地域の特色を活かした産地づくりによる経営の安定

1 県オリジナルブランド米「ひめの凜」の産地化

【取組】

- ①認定栽培者に対して種子代の助成を行い、「ひめの凜」の生産拡大を推進
- ②穂肥・中干しに係る栽培講習会を開催するとともに、個別巡回により梅雨期の病害対策指導を行い、「ひめの凜」の高品質生産を推進

【成果】

- ①戸数・栽培面積：13戸(R2年比1戸減)・8.08ha(R2年比3ha増)
- ②中干講習会（6月・1回）、穂肥講習会（7月・1回）を実施

2 「さといも(伊予美人)」の省力生産体系等による産地化及び優良種芋供給基地の育成

【取組】

- ①補助事業を活用し、畦立てマルチャー、土揚げ機、移植機を導入し、労働生産性の向上や供給体制の強化を推進
- ②親芋副芽を活用したセル苗による優良種芋の確保を実証・検討
- ③ドローンを活用した防除実演により省力生産体系の導入を啓発

【成果】

- ①津島町に畝立てマルチャー・土揚げ機・移植機各1台を整備
- ①作付面積が増加 津島町 R2：1.62ha ⇒ R3：1.95ha
全域 R2：8.9ha ⇒ R3：10.5ha
- ②JA、農水研、南予地方局によりセル苗の実証ほを3か所設置
生育調査（2回）、検討会（2回）、講習会（3回）
- ③8/26に生産者4人、関係者12人が参加し、三間町大内でドローン防除実演会を開催

3 生産量全国No.1の「ブラッドオレンジ」等の栽培推進

【取組】

- ①摘果技術や貯蔵による果皮の赤み強化試験を実施
- ②優良園地条件の検証

【成果】

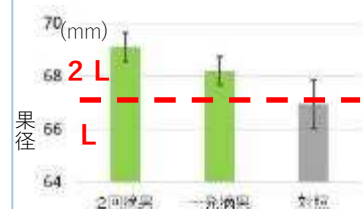
- ①早期収穫したモロの着色向上
赤色指数1.4⇒2.0（40日冷蔵貯蔵後）
- ①摘果により価格の高い2Lサイズ以上のタロッコを生産
- ②収益性の高い生産を目指し1樹内の方位別赤味分布を調査
⇒北東面の赤味赤みが強いことが判明（タロッコ・モロ）
- ②西日の影響を受けにくい北東向き園地に優良園地が多いことが判明



ひめの凜穂肥講習会



さといもセル苗講習会



摘果による肥大(タロッコ)

○地域の特色を活かした産地づくりによる経営の安定

4 (株)源吉兆庵と連携した加工用果実(かき、びわ)の作付拡大と安定出荷に向けた取組推進

【取組】

- ①宇和島市新たな特産品づくり推進事業を実施し、JAの新たな特産品(びわ、かき)の生産拡大を推進
- ②(株)源吉兆庵を含めた協議会において、かきの出荷基準見直しや、びわの新規生産者確保等について検討し情報を共有するとともに、生産量確保のため集団・個別指導を実施

【成果】

- ①びわ生産者・面積
4名(R2年比1名増)・66.2a(R2年比12a増)
 - ①びわ、かきは昨年以上の出荷を達成
びわ：3.1t(前年比155%)
かき：7.1t(前年比134%)
 - ②かきの早期収穫・追熟技術の実施：1.7t
 - ②びわ新規生産者：1人
- ### 5 新規需要米等の栽培・利用促進による耕畜連携の推進

【取組】

- ・水田の有効利用を図るため、耕畜連携による新規需要米等の作付けと生産者の栽培技術の向上を推進

【成果】

- ・飼料米作付面積：12.7ha(前年比101%)



加工用かき摘果講習



加工用びわ出荷講習

～地域づくり～

農家の高齢化が進み、担い手不足が深刻化する中、集落営農組織の設立や意欲のある経営体の規模拡大を図るほか、農業団体による営農活動や進出企業による生産活動、女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど多様な担い手が活躍できる地域づくりを進めます。また、家族経営協定の推進により家族ぐるみで経営に参画し、夢を実現できるようメリハリのある経営や労務管理の取組を推進します。地域の鳥獣被害対策や荒廃農地対策も進め、安心して農業に取り組める地域づくりに努めます。

～推進対象や地域づくりの方向～

○農地を守る担い手の経営安定

1 集落営農組織の設立と法人化

【取組】

- ・三間町黒川地区と是能地区で農事組合法人を設立(9月)

【成果】

- ・法人設立 農事組合法人 黒川
9月10日設立、参加者16人、7ha
農事組合法人 これよし
9月12日設立、参加者31人、20ha

2 新規就農希望者の技術習得支援のための研修機能創設

【取組】

- ・JAえひめ南・野菜栽培講座を開設

【成果】

- ・専門講座：12回(6/2～10/27)受講生6名
基礎講座：11回(6/7～10/27)受講生6名
- ・専門講座延べ73名、基礎講座延べ98名が受講
- ・受講生のアンケートでは、開催時期や開催内容の改善意見
- ・今後も講座の内容を充実させ新規就農希望者の技術習得を支援

3 農家自ら立ち上げた法人組織等による営農活動や園地のマッチング支援

【取組】

- ①かんきつ大苗育苗の技術指導
- ②空き農地情報や就農相談などの情報を一元管理できる組織の必要性についてのコンセンサス形成を推進

【成果】

- ①かんきつ大苗育苗の施肥・防除・かん水等について指導：1回/週
- ②関係機関の意識統一を図るための話し合い：1回



法人これよし設立総会



法人黒川設立総会



三間野菜講座(鳥獣対策)

○農地を守る担い手の経営安定

4 機械共同利用や共同防除組織の機能維持

【取組】

- ・機械共同利用12団体に事業継続・機械更新・安全使用を指導

【成果】

- ・自然災害リスクに備える農業版事業継続計画講習会：1回
- ・トラクタの事故防止に向けた安全講習会：1回

5 侵入防止柵の設置や捕獲等による農作物の鳥獣被害の軽減

【取組】

- ・県・市事業による防止対策施設の整備を推進
(宇和島市薬師谷地区)
 - ①シカ・ウサギによる食害防止のため苗木用防護柵を設置
 - ②効果的なワイヤーメッシュ柵設置に向けた講習会を開催
 - ③地区猟友会員・青年農業者と連携した捕獲活動を推進

【成果】

- ・鳥獣害防止施設整備事業（県事業・1,738m）、
単独有害獣被害防護柵設置事業（市事業・5,820m）
 - ①もも、くり、びわの苗木計11本で防護柵を設置
 - ②ワイヤーメッシュ設置講習会の開催（1回、参加者5人）
 - ③山間部における猟友会員と連携したシカの捕獲（4頭）
青年農業者園地でノウサギの捕獲を確認（1羽）

6 荒廃農地“予備軍”の早期発見と対策の推進

【取組】

- ①7月～8月（延べ20日間）に、農業委員、協力員、市役所、
南予地方局等で、管内全域の農地利用状況を調査
- ②JAによる作業受託創設を目指し、畦畔管理の作業受託を検討

【成果】

- ①農地利用意向調査（遊休農地を対象）：56,117㎡、59筆
※今年度は新型コロナへの対応として農業委員が主体となり実施
うち、農地中間管理機構への提供：5,701㎡、12筆
- ②畦畔除草について機種別の作業時間を測定



防護柵設置講習会の開催



捕獲されたシカ



就農希望者への相談対応

○新規就農者の育成と多様な担い手の定着

1 学童・生徒への農業や南予地域の魅力発信

【取組】

- ①南予地域の新規就農者の確保・育成につなげるため、県立農業
大学校の父兄に対して就農後の支援制度等を紹介
- ②南予農業魅力発信事業を実施

【成果】

- ①県立農業大学校保護者地区別懇談会（1回）
- ①南予農業見学会（1回）11/19（有）ワールド・ファーマーズ
（株）山口園芸
- ②南予農業魅力発信セミナー（1回）3/14 伊予農業高校

2 就農希望者に対する就農相談や情報提供

【取組】

- ・市役所支所に相談窓口を設置し、就農希望者への個別相談を実施し、営農計画作成支援や各種補助事業の活用などを促進

【成果】

- ・就農相談：51件
- ・令和3年度新規就農者18名のうち、3名が認定新規就農者へ

3 新規就農者や就農初期青年への生産技術・経営のスキルアップの場の提供

【取組】

- ①農業次世代人材投資事業の重点指導対象者を設定
- ②新規就農者等を対象に経営管理や技術力向上のためのニュー
ファーマー講座を開催し、円滑な経営発展と早期定着を推進

【成果】

- ①農業次世代人材投資事業の重点指導対象者を設定（6名）
- ②ニューファーマー講座の開催（4回）
GAP研修、かんきつ摘果講習、肥料、農薬の基礎、剪定講習



南予農業見学会



魅力発信セミナー



ニューファーマー講座で
かんきつ摘果指導

○新規就農者の育成と多様な担い手の定着

4 女性農業者によるネットワーク活動を支援

【取組】

- ・一次産業女子ネットワークさくらひめによる就農促進に向けたオンライン農業体験ツアーへ参加し農業の魅力を発信

【成果】

- ・オンライン農業体験ツアーで就農希望者に対して就業相談、地域農業に関する情報を提供（対応 農業女子1名）

5 農家による6次産業化やグリーン・ツーリズム、GAPの取組支援

【取組】

- ・各種研修会等により、農産加工や6次産業化、グリーン・ツーリズム、GAP取組等を支援

【成果】

- ・GAP認証更新に向け、農業経営・労務管理等の改善を支援
- ・農産加工研修（米粉パン）
- ・農林漁家民宿研修（開業・運営方法）
- ・先進事例視察研修（グリーン・ツーリズム取組事例）
- ・媛っこ地鶏の加工品を開発



オンライン農業体験
ツアーで就農相談対応



米粉パン加工研修

～産地づくりと地域づくりを基盤整備で支えます～

1 水田地帯における農地中間管理機構と連携した圃場整備の実施

【取組】

- ・三間町黒川地区、是能地区の事業計画書を作成

【成果】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業
2地区（黒川地区、是能地区）の事業採択を国に申請

2 既存かんがい施設の老朽化対策と災害に強く生産性の高い樹園地整備の実施

【取組】

- ①玉津地区・宇和島地区・吉田地区・岩松地区・岩松第2地区・高の平地区で実施中
- ②吉田町立間地区の事業計画書を作成

【成果】

- ①農地中間管理機構関連農地整備事業：1地区（玉津地区）
- ①基幹水利施設ストックマネジメント事業：
3地区（宇和島地区、吉田地区、岩松地区）
- ①農業水路等長寿命化・防災減災事業：1地区（岩松第2地区）
- ①畑地帯総合整備事業（担い手育成対策）：1地区（高の平地区）
- ②畑地帯総合整備事業（担い手育成対策）：
1地区（立間地区）の事業採択を国に申請

3 ため池の改修及びハザードマップ作成

【取組】

- ①ため池ハザードマップを作成、ため池改修工事を実施中
- ②ため池改修及び耐震補強工事の実実施設計を作成

【成果】

- ①ため池ハザードマップ134箇所、老朽ため池1箇所を整備
- ②ため池改修及び耐震補強工事の実実施設計を2箇所で作成

4 優良農地の荒廃の防止等、地域ぐるみの保全管理の共同活動への支援

【取組】

- ・日本型直接支払制度の活用による、地域ぐるみで取り組む保全管理のための共同活動の実施

【成果】

- ・多面的機能支払 44組織 1,544ha、中山間地域等直接支払84協定 1,806haで共同活動



かんがい施設更新状況



ため池の改修整備



共同活動の状況



ハザードマップ



ため池改修工事中